



新田南小学校だより



令和8年(2026年)1月9日発行

本年もどうぞよろしくお願いたします！

今年も1名の転入生を1年生に迎え、新しい学期をスタートしました。

冬休み中、工事も本格化しており、本日も新しい校舎の建つ場所に大きな穴が開けられ、支柱の土台となるものが上からはっきりと見えました。どうやって学校が建てられるのかを垣間見ることができるのも、大変珍しいことかと時々上から見せてもらっています。たくさんの工事関係者の皆さんが関わっていただいているのも見ることもできる貴重な経験をさせてもらっています。

さて、そうした工事の音が鳴り響く学校に、子どもたちのにぎやかな声が戻ってきてくれることは、これまた大変嬉しいことです。

始業式

久しぶりに会う友達もいて、休み明けの初日はにぎやかです。体育館に集まる子どもたちの表情には、高揚感が見て取れる子もいれば、もうしゃべり過ぎたか疲れが見える子もいました。そのような中、私からは次のようなお話をしました。

<日本人、さすがです・・・！>

子どもたちはどのような正月を迎えたのでしょうか。大人はバタバタしている年末年始ですが、子どもたちも少しは家族の一員として何か役割を全うできたのならいいなと思います。

私も一応お家の用事を済ませ、夜ぼうっとテレビを見てみると、日本のおでん職人さんが北欧の国に赴き、現地調達で街の人たちにおでんを振舞うという番組がありました。日本でおススメのおでんだね7種をお出しして、どれがベスト3に入るかという内容でした。お出しするおいしい日本の食材を海外に持ち込めず、町のスーパーで購入することになるのですが、どうしても手に入らなかったものがあります。何だと思いませんか？ 関西風？に言うとお揚げさんです。餅巾着には欠かせないのですが、無いものはどうしようもありません。

しかし、その調理人は大量に豆腐を買い込むと、一部はがんもどきに使い、残りを薄くスライスして低温と高温の2度揚げをし、おいしい手作りお揚げさんを作ってしまった。

豆腐はどうふ??で、よくよく考えれば「そうか!」と大きく納得でしたが、とっさの発想の転換が効くかどうかは、ものごとをきちんと知らないといけないなと思いました。プロの職人さんだからこそ当たり前と言ってしまうえばそれまでですが、しっかり学んだことはこうして使える知識となって役に立つねということをお話しました。困ったときも、ちょっと見方を変えればピンチでなくなるかもしれない、そういう色々な見方のできる人になって欲しいなというお話です。

でも、あまり上手に伝えられなかったので、子どもたちは「どのおでん種が一番好き?」というところしか覚えていないかもしれません。

ちなみに、その国で100人ぐらいの方に食べてもらった結果、1餅巾着、2牛すじ、3ちくわでした。その国では1週間に1度はスープを飲む文化があり、おでんも食べやすかったのかもかもしれません。子どもたちは、たまごに手を挙げる子が一番多かったかと思えます。

最後に、お休みされていた谷口香奈先生が戻られ、くれよんの先生(支援学級)として頑張ってもらおうこととなりました。よろしくお願いたします。

<おでんだね として出したい7種>

たまご、餅巾着、がんもどき、ちくわ、

牛すじ、春菊、大根



お知らせ

○近日中に転出調査を

・令和8年度の学級設置に関わり、転出調査をさせていただきます。今年はコドモンで実施予定ですが、それまでにも転出が分かりましたら急ぎ担任までお知らせください。よろしくお願いたします。